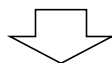


# □STOKの銘柄通信2021モデルの概要

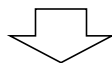
## § 01, 基本的な共通認識の概要

- 1, STOK役員全員⇒毎月2回(1日・15日迄に)有望3銘柄を事務局へ報告すること。⇒簡単な選定理由を添えて。
- 2, 有望銘柄のターゲット目標⇒短期(スイングトレードで3か月程度を目標→会議にて方向性決定)で考えること。
- 3, 銘柄解析(スクリーニング等)・推移データ整理等は事務局で行い管理保管する。
- 4, 提供された銘柄の有効期限は3か月程度を考える。⇒データ保存については別途協議する。
- 5, その他

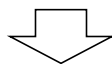
有望銘柄(12銘柄程度)の取りまとめ



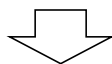
集計してスクリーニングを行う  
(STOKのトレード診断モデル参照)



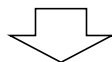
Y/S氏・K/F氏にスクリーニング結果を報告



銘柄を選択



※Y/S氏・K/F氏で検討を行い⇒最終銘柄選定手法について  
SNS等で積極的に外部に発信していく



一例⇒YouTube等にUPか?  
または、ブログ形式化?

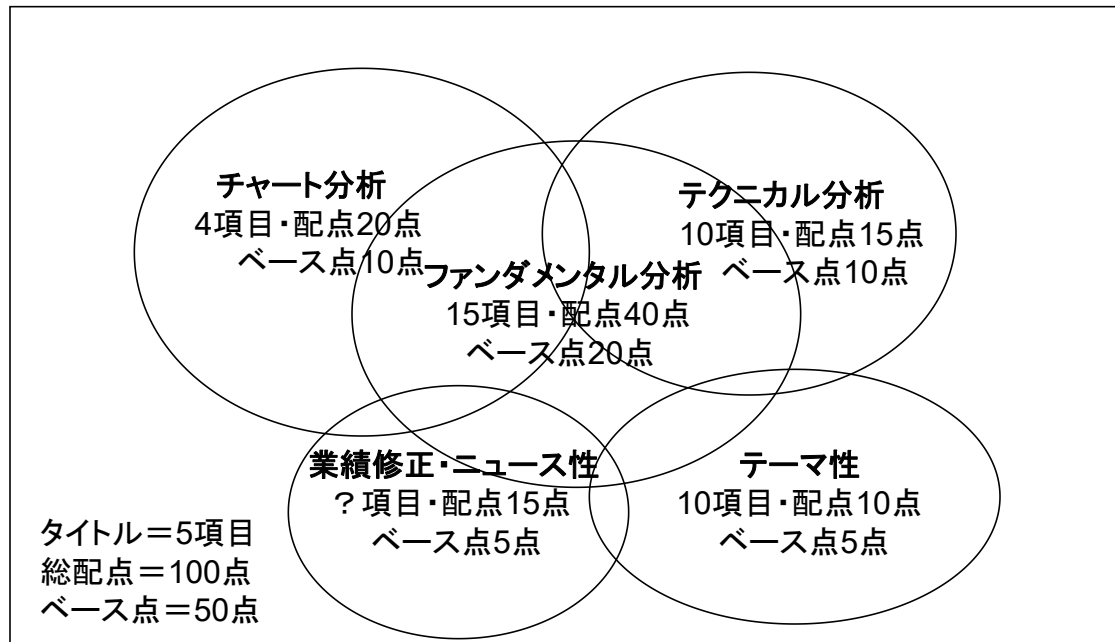
※簡単な活動内容及びフローを纏めて見ましたので、Y/S氏・K/F氏の両氏  
でより充実な改訂を期待します。

## § 02, スクリーニングの判定概要(案)

### 1, 基本的な考え方

- ・株価の動向は定量的・定性的に推測するのは困難である。
- ・だけど、何らかの基準(ベース)を設けて、それをベースとしてトライ&エラーで修正を試み  
⇒概略の方向性?を見いだせれば……。
- ・そのために、無理やり「銘柄通信表」よりベースらしきものを設定。

### 2, 「銘柄通信表」の配点ウェートの概念は



### 3, 配点の概要

- ・ファンダメンタル分析=配点40点(15項目)⇒ベース点20
- ・テクニカル分析=配点15点(10項目)⇒ベース点10点
- ・チャート分析=配点20点(4項目)⇒ベース点10点
- ・テーマ性=配点10点(10項目)⇒ベース点5点
- ・業績・ニュース性=配点15点(?)⇒ベース点5点

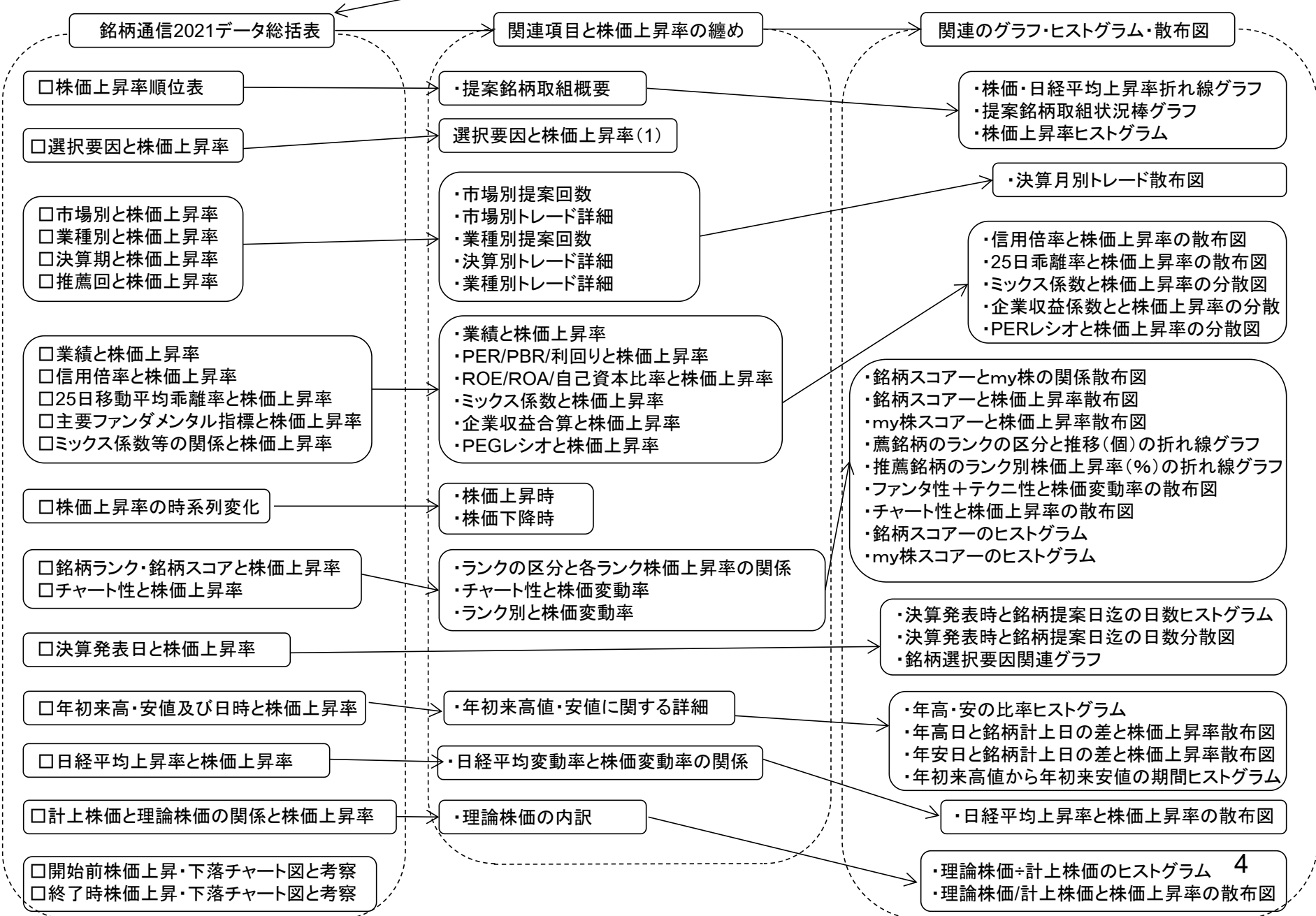
### 4, 判定基準の概要

- ・S=100~76
- ・A= 75~51
- ・B= 50~26
- ・C= 25~0。



# 1, モデルのデータ分析関連図(概要)

## モデルの概略フローチャート



## § 04, 配点基準の概要

### 1、テクニカル分析(10項目)

- ・買い+3点、・売り-1点、無=1点(10項目に換算)

### 2、チャート分析(4項目)

- ・斜め上+5点、真横3点、斜め下0点。

### 3、テーマ性

- ・有り+5点(1個当たり)、無0点⇒加点していく。

### 4、業績・ニュース性

- ・増益+5点、減益-2点、
- ・グッドニュース+5点、バッドニュース-2点、無0点

### 5、ファンダメンタル分析(15項目)

- ・業績=5点
- ・PER・PBR・ROE・ROA・自己資本率・理論株価
- ・PCFR=3点×7項目=21点
- ・信用倍率・利回り・PSR・経常利益率/期
- ・売上高率/%=2点×7項目=14点

## § 05, 配点基準の詳細表

### 1、テクニカル性等配点基準(仮)

項目	基準点	ランク1	ランク2	ランク3	ランク4	ランク5
テクニカル性	10項目	買い	売り	無		
		3	-1	1		
チャート性	4項目	斜上	真横	斜下		
		5	3	0		
テーマ性	加点式	有り	2有り	無		
		5	10	0		
業績・ニュース性		増益	減益	Gニュース	Bニュース	無
		5	-2	5	-2	0

### 2、ファンダメンタル性配点基準(仮)

項目	基準点	ランク1	ランク2	ランク3	ランク4	ランク5
業績	5項目	真上	斜上	真横	斜下	真下
	配点	5	3	0	-1	-2
PER	15倍以下	15<	16~45<	46~90<	90>	記載なし
	配点	3	2	1	0	0
PBR	1.5倍以下	1.5<	1.6~4.5<	4.6~9.0<	9.0>	記載なし
	配点	3	2	1	0	0
ROE	15%以上	15≥	15<~5	5<~0	算出無	マイナス
	配点	3	2	1	0	0
ROA	5%以上	5≥	5<~1	1<~0	算出無	マイナス
	配点	3	2	1	0	0
自己資本率	40%以上	40≥	40~20	20~0	記載なし	
	配点	3	2	1	0	
理論株価(%)	株価/理論	30≥	30~15>	15~0>	0<	
	配点	3	2	1	0	
PCFR	9以下	9≤	9~18<	18~27<	27>	マイナス
	配点	3	2	1	0	0
信用倍率		0~10	11~30	31>		
	配点	2	1	0		
利回り	2%以上	2>	0~2	記載なし		
	配点	2	1	0		
PSR	0.5倍以下	0.5<	0.5~20	20>	記載なし	
	配点	2	1	0	0	
経常利益率	10%以上	10>	0~10	0<		
	配点	2	1	0		
経常益連続期	5期連続	5~4	3~1	0		
	配点	2	1	0		
売上高	10%以上	10≥	0~10	0<		
	配点	2	1	0		
売上高3年平均	5%以上	5≥	5~1	0	マイナス	
	配点	2	1	0	0	

§ 06, 銘柄通信2021の書類フォーマット(例)

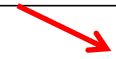
1, 銘柄通信2021の銘柄リストアップ表

(第1回2021・04・02現在版)

Y・S			K・F			S・K			S・F		
銘柄名	コード	要因	銘柄名	コード	要因	銘柄名	コード	要因	銘柄名	コード	要因

※要因: 割安性・成長性・テクニカル性・テーマ株・チャート性・ニュース性から選択。

四季報は3カ月に1回の改訂有り



2, 銘柄通信2021の各指標の整理表

(2021・06・04の改訂)

注1; 四季報は2021・03・19日更新版

注2; ROA/ROEは(予測)を記入

銘柄名	コード	市場	業種	決算 月	PER 15倍<	PBR 1.5倍<	利回 2%>	時 価 総 額 (億円)	ROE 15%>	ROA 5%>	自己資 本比率 40%>	株 価 (円)	理 論 株 価 (円)	PSR 0.5倍<	PCFR 9.0倍<	経 常 益		売 上 高	
																変化率 10%>	連続期 5期	変化率 10%>	平均高 5%>
ベンチマーク																			

ザラバ情報(2-10画面配置)

楽天マーケットスピードへの配置

※; 株価は2021年04月02日終値。

※; Yahooファイナンス・みんなの株式・四季報を参照。



#### 4, 銘柄診断スコア集計表

(2021・05・14の改訂)

(銘柄診断日-2021・05・14)

銘柄No.	ランク	業績	信用倍率	PER	PBR	利回	ROE	ROA	自己資本	理論株価	PSR	PCFR	経常益		売上高		ファンダ性	テクニ性	チャート性	テーマ性	ニュース性	合計	my株	完了後
													変化	連続	変化	平均								
基準点		5	2	3	3	2	3	3	3	3	2	3	2	2	2	2	40	15	20	10	15	100	1000	-
135																								
合計																								
平均																								

#### 5, 株価管理表⇒3ヵ月期間

##### □日経平均の株価管理表

企業名	コード	4月1日	4月2日	4月16日	4月30日	5月14日	6月4日	6月18日	7月2日
日経平均	—								
日経平均変動率	%								

変動率(%)=(今回の株価-基準の株価)/基準の株価\*100

##### □銘柄の株価管理表(第1回)

No.	ランク	企業名	コード	4月1日	4月2日	4月16日	4月30日	5月14日	6月4日	6月18日	7月2日
1	A										
2	A										
3	S										
4	A										
5	A										
6	A										
7	A										
8	B										
9	A										

変動率(%)=(今回の株価-基準の株価)/基準の株価\*100



6, 選択要因・業績スコアー・乖離・信用倍率・決算発表集計表

調査期間	No.	ランク	銘柄名	コード	選択要因	業績	スコアー		25日乖離	信用倍率	決算発表	株価変動率(%)
							ファン	テクニ				
第1回	1	A										
	2	A										
	3	S										
04・01	4	A										
	5	A										
~	6	A										
	7	A										
07・02	8	B										
	9	S										
	10	A										
	11	A										

7, 年初来高値・安値集計表

No.	ランク	銘柄名	コード	銘柄計上日	計上銘柄株価	調査終了株価	年初来高値		年初来安値	
							株価	期日	株価	期日
1	A									
2	A									
3	S									
4	A									
5	A									
6	A									
7	A									
8	B									
9	S									
10	A									
11	A									

## § 07, データ解析のための内容説明

### 01、業績(表の中の業績矢印は下記の様な意味を持たせている。)

- ↑: 30%以上の増益、もしくは黒字転換。↗: 3%以上30%未満の増益、もしくは赤字縮小。
- : 3%未満の増益、もしくは3%未満の減益。↘: 3%以上30%未満の減益、もしくは赤字拡大幅が50%未満。
- ↓: 30%以上の減益、もしくは赤字転換、赤字拡大幅が50%以上。—: は会社が未発表。

### 02、信用倍率

信用取引の「買い方」と「売り方」のマーケットにおける取り組み状況を表す指標で、「信用買い残÷信用売り残」で計算される。値が1よりも大きければ、買い残が売り残よりも多いことを示し、逆に1よりも小さければ売り残の方が買い残よりも多いことを示す。信用売り残が増えて1に近づいてくると、株価が上昇する可能性が高まることから株式市場では好感される。逆に、倍率が高まると、買いが一方向的で相場が過熱していると言われる。

あくまでも株価を動かすのは業績や企業ニュース、外部環境の変化など、信用取引の需給だけではないため、必ずしも買い残が増えると株価が下がり、売り残が増えると株価が上がるとは限りませんが、積み上がった信用残は相場の動きを抑えたり、加速させたりする性質を持っていることは是非とも押さえておきたいポイントと言えます。

### 03、株価トレンド性(乖離率)

移動平均線乖離率(移動平均線乖離率から売買タイミングが読める)→テクニカル分析の項を参照

### 04、業績推移性

決算発表前の株価の動きと決算内容の良し悪しは必ずしも一致しない。「決算発表前の株価の動きをみても事前には予想はつきづらい」という結論に残念ながらなってしまいます。

好決算や次年度の好業績予想などにより決算発表後に株価が急騰した銘柄も、一旦上昇が止まると目先筋の利食いなどで調整局面を迎えます。しかし調整局面が終われば、再び上昇を始めることが多くあります。

また、決算内容が悪かったり、次年度が大幅な減収減益予想であったため大きく売り込まれた銘柄も、多くは売り一巡後に下げ止まり、反発をはじめます。

### 05、比較対象銘柄

#### 比較チャート

・絶対比較・相対比較・差分比較・比較倍率・レシオケータ

## 06、ファンダメンタル性

ファンダメンタルズ分析はその国の経済データを使用して相場を予測する分析方法のことを指します。また、ファンダメンタルズは「経済の基礎的条件」と訳されます。経済成長率や物価上昇率、財政支出などがこれにあたります。また広義では、その経済に影響を与える可能性のある要人の発言もファンダメンタルズとして活用されます。日々、発表される経済指標と要人発言の情報収集がファンダメンタルズ分析を行う上で極めて重要となります。

株式投資の場合には企業の業績や売上高、資産、負債の財務状況、財務の健全性がこれにあたります。代表的な3つのファンダメンタル分析として株価収益率(PER)や株価純資産倍率(PBR)、株式資本利益率(ROE)などが指標として用いられ、トレーダーは市場価格が将来の本質的価値に対して割安か割高か判断します。

## 07、テクニカル性

対するテクニカル分析は基本的にチャートを見た上で、価格や値動きのサイクルに注目する分析手法です。過去の値動きを表すチャートを用いるほか、テクニカル指標と組み合わせて分析します。テクニカル指標には移動平均線、ボリンジャーバンド、RSI、MACDなどが例として挙げられます。

ファンダメンタルズ分析とテクニカル分析、全く毛色の違う2つの分析方法ですが、それぞれにメリットデメリットがあり、優劣はありません。これはよく投資家の間で議論になる点ではありますが、紛れもない事実です。各分析手法の特徴をおさえて賢く自分にあった投資スタイルをみつけていきたいです。ただ、初心者にはテクニカル分析がとっつきやすく、始めはテクニカル分析で取引を行いながら、徐々にファンダメンタルズ分析に触れていき慣れていくのがよいのではないのでしょうか。(当サイト「[板センサー](#)」は逆張りタイプの「[オシレータ系](#)」のテクニカル指標を主に扱っています。)

## 08、テーマ性

テーマ株とは、話題の企業や業種、または業界の銘柄を一つのまとまりとして考える、株式の分類方法の一つです。例えば「将来性」はテーマ株としてよく用いられます。将来性がある企業の株には、さまざまな方面から資金が入ることが期待できるからです。

また近年では、環境問題が地球規模のテーマになっています。このテーマに注目すれば、さまざまな関連銘柄を見つけることができるでしょう。持続可能(サステイナブル)な技術・素材を提供する会社や代替肉を提供する会社など、上場時に話題となった環境関連の企業が多くあります。

(個別銘柄のテーマ性「業務・業種内容ともいわれる」も含む)

・テーマ株と個別銘柄のテーマ性が一致しておれば→成長性・将来性が期待できるのでは？

## 09, 決算速報・ニュース性

上場会社は四半期(3カ月)ごとに決算を行い、その結果を発表します。

決算発表時に公開される「決算短信」(または四半期開示)は、会社の計画(業績予想)に対する進捗状況や実績を確認するのに重要な書類です。

これには、売上高や利益、資産の状況、キャッシュフロー、業績予想などが、グループ会社全体の連結決算を中心に記載されています。配当については、予想を含む2期分が記載されます。

以下のサイトで閲覧できます。

- (1)各社のウェブサイト
- (2)EDINET(エディネット)<http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/>
- (3)適時開示情報閲覧サービス(TDnet)(情報開示日を含めて31日分)  
[https://www.release.tdnet.info/inbs/l\\_main\\_00.html](https://www.release.tdnet.info/inbs/l_main_00.html)

## 10, チャート・出来高性

価格や出来高の推移をグラフ化したチャートの形状から、将来の値動きを予想する手法。「テクニカル分析」ともいいます。チャートには、ローソク足、移動平均線、一目均衡表、ボリンジャーバンド、ストキャスティックス、ポイントアンドフィギュア、MACD、RSIなどさまざまな種類があり、それぞれ独自の分析手法があります。

【チャートの見方「出来高」】→投資家の注目度がわかる「出来高(売買高)」とは？

- (1)出来高の急増は、株価の「底値」にも「ピーク」にもなる！
- (2)株価の動きがなかった不人気株の出来高が急増したら注目！
- (3)株価が上昇した後に出来高が急増したら、買ってはいけない！
- (4) **価格帯別出来高**の膨らんでいるゾーンは、株を売買する際の重要な節目！

## 11, 判定結果について

- ①、何らかの基準で判定基準を設け→トライ&エラーで方向性を追求。
- ②、データ化で定量・定性的な方策を探す。
- ③、タイムスケジュールは3カ月程度を1サイクルとして2~3サイクルで見当できれば……





## § 08, 用語等の説明

- 1、PSR=株価売上高倍率=時価総額÷売上高。(20倍>割高、0.5倍<割安=同業他社との比較も必要)、  
・変化率(成長率)の推移でみる必要がある
- 2、PCFR=株価キャッシュフロー倍率=時価総額÷営業キャッシュフロー。(時価総額=株価×発行済株式数)  
・PERを補完する指標。・高PERでも設備投資に積極的な企業は低PCFRとなる。・倍率が低いほど割安、(同業他社との比較が基本)。・PER<PCFR→明確な基準はない。・単体で使用しない。→目安は9倍(過去20年間の平均は6~12倍)。
- 3、PEGレシオ(株価に対する企業の成長性を分析する指標です。  
PEGレシオを算出するには以下の式を用います。

PEGレシオ=PER(株価収益率)÷企業の利益成長率(%)→PEGレシオの割安判断は「1以下」。

PEGレシオで使われる利益成長率は今期と来期の予想成長率の平均を用いてください。  
(経常利益・・・ 為替変動リスクがあるものの企業の「利益の実態」に近い)

▼PEGレシオの投資判断→2倍以上:割高。1倍~2倍:適切な株価。1倍未満:割安。

### 4、ミックス係数

当期純利益と純資産から株価の割安性を評価する財務指標【ミックス係数】は投資家に人気のPERとPBRを掛け合わせるにより算出できます。提唱者ベンジャミン・グレアム氏曰く、ミックス係数が22.5を下回る銘柄が割安である。ミックス係数とは企業のBS・PL両方の観点から企業の株価の割安性を見極める指標。

### 5、決算短信

「決算短信」とは、四半期ごとの決算発表の内容をまとめた、速報のようなものです。

経営活動における財務上の結果を報告する財務諸表の概略やその期の配当金状況、企業が出した業績予想などが記載されています。

決算短信が発表されると、株価が変動しやすくなります。投資家が決算短信を読み、株の売買を行うからです。

株を売買するなら、その企業を分析する必要があります。そこで分析材料のひとつとして欠かせないのが、決算短信です。しかし「はい、どうぞ」と渡されても、簡単に読み取れるものではありません。

# 6. 参考資料の整理表

(2021・10・01の改訂)

<https://finance.yahoo.co.jp/>、<https://kabutan.jp/>、<https://minkabu.jp/>、<https://kabusensor.com/>

## ヤフーファイナンス・会社四季報・みんなの株式

銘柄通信No144	銘柄名	日本精鉱(株)					調査日	2021・10・01							
コード	市場	業種	決算	業績	株式(円)	信用倍率	特色	難動割用三酸化アンチモンでシェア7割。子会社が製造する電子部品向け微粉末金属粉も柱。							
5729	東2	非鉄	3	↑	2,606	-									
ファンダメンタル性															
PER	PBR	利回	時価総額	ROE	ROA	自己資本比率	株価	理論株価	PSR	PCFR	経常益変化率	連続期	売上高変化率	売上高平均高	
15倍<	1.5倍<	2%>	(億円)	15%>	5%>	40%>	(円)	(円)	0.5倍<	9倍<	10%>	5期>	10%>	5%>	
12.50	2.06	0.46	113	25.6	14.3	55.8	648	483	1.01	8.0	45.8	2	40.5	4.0	
株価トレンド															
平均線	5日線(目先)	25日線(短期)	75日線(中期)	200日線(長期)	テクニカル指標			指標値	サイン						
方向	方向性	乖離率(%)	方向性	乖離率(%)	方向性	乖離率(%)	方向性	乖離率(%)	移動平均線(25日)	0%	無				
乖離率	↓	-1.20	↑	0.09	↓	-6.52	↑	26.65	ボリンジャーバンド(25日)	4.001	3.373	無			
比較対象銘柄															
企業名	コード	決算期	売上高	経常益	最終益	1株益	1株配	発表日	MACD	F・S	キャストクス	40%	売		
日経金HD	5703	2019・03	141	12.2	8.3	339.9	75.0	19/05/14	S・S	キャストクス	57%	無			
UACJ	5741	2020・03	109	4.3	2.9	117.2	75.0	20/05/13	RSI		45%	無			
三井金	5706	2021・03	112	12.1	8.1	333.4	65.0	21/05/14	%R	オンレーター	57%	無			
		予22・03	158	17.6	12.0	491.7	100	21/08/30	ボリューム	レシオ	343%	77%	売		
		前期比(%)	40.5	45.8	47.6	47.5	21・08・30(2Q)発表	モメンタム			-75		売		
決算速報・ニュース性															
8/30:22年3月期の業績及び配当予想を上方修正															
8/5,4-6月期(1Q)経常は2.4倍増益で着地															
判定結果															
ファン性	テク性	チャー性	テーマ性												
30	7	15	5												
ニュー性	備考	合計													
5	スコア表を参照	62													
S	A	B	C												
その他															
事前my株=957/1,000。(別添参照)。完了my株=1,000															
●年初来高値=4,005円(21・08・31)。●年初来安値=2,555円(21・05・24)															
★テクニ指標:トレンド追従型=一目均衡表・パラボリック・新値3本足															
月・日	10月1日	10月15日	10月28日	11月12日	12月3日	12月17日	12月31日	メモ							
株価	3,690														

株探

<https://kabutan.jp/>

会社四季報

楽天マーケットスピードより

みんな株・株探

<https://minkabu.jp/>  
<https://kabutan.jp/>

スクリーニングの判定

my株・株探

<https://my.kabumap.com/>  
<https://kabutan.jp/>

ヤフーファイナンス

<https://finance.yahoo.co.jp/>

株センサー

<https://kabusensor.com/>

株探決算

<https://kabutan.jp/>

<https://kabutan.jp/>  
株探より計算

株センサー

<https://kabusensor.com/>

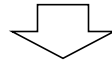
株探

<https://kabutan.jp/>

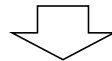
§ 01, 基本的な共通認識の概要(第16回より下記の考え方に変更する)

- 1, STOK役員全員⇒毎月2回(決められた週の水曜日迄)有望2銘柄を事務局へ報告すること。⇒選定理由を添えて。
- 2, 有望銘柄のターゲット目標⇒短期(スイングトレードで3か月を目標とする→会議にて決定)で考えること。
- 3, 銘柄解析(スクリーニング等)・推移データ整理等は事務局で行い管理保管する。
- 4, 提供された銘柄の有効期限は3ヵ月程度を考えている。⇒データ保存については別途協議する。
- 5, その他

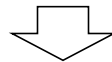
有望銘柄(8銘柄程度)の取りまとめ



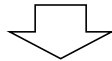
集計してスクリーニングを行う  
(STOKのトレード診断モデル参照)



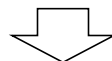
Y/S氏・K/F氏にスクリーニング結果を報告



銘柄を選択



※Y/S氏・K/F氏で検討を行い⇒最終銘柄選定手法について  
SNS等で積極的に外部に発信していく



一例⇒YouTube等にUPか?  
または、ブログ形式化?

※簡単な活動内容及びフローを纏めて見ましたので、Y/S氏・K/F氏の両氏  
でより充実な改訂を期待します。

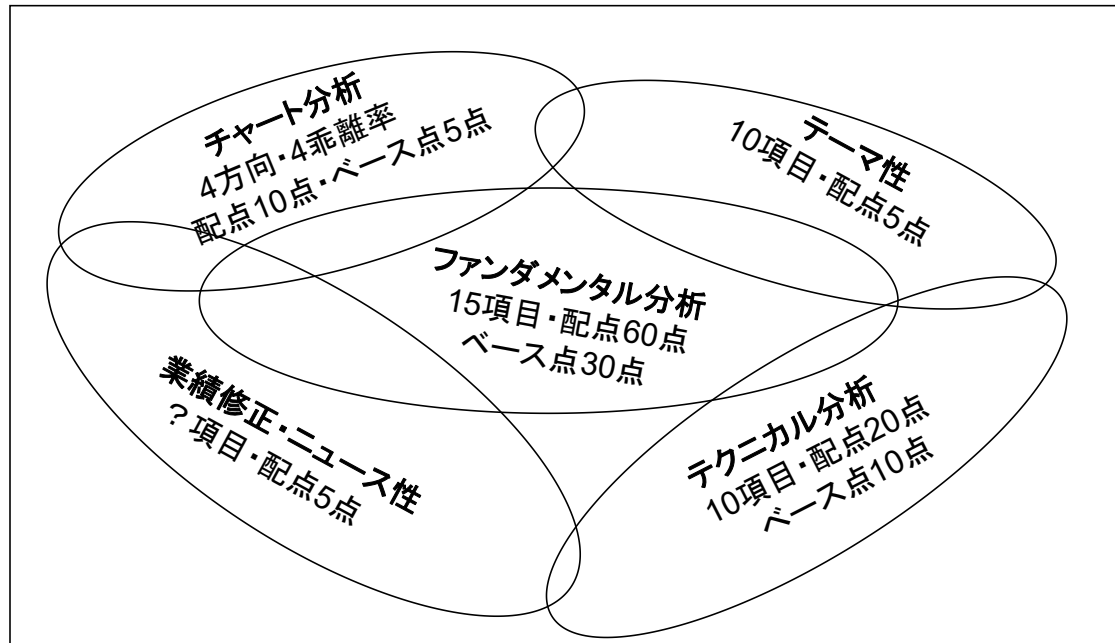


## § 02, スクリーニングの判定概要(案) (特に配点の変更について) ⇒ 11/06会議にて一任

### 1, 基本的な考え方

- ・株価の動向は定量的・定性的に推測するのは困難である。
- ・だけど、何らかの基準(ベース)を設けて、それをベースとしてトライ&エラーで修正を試み  
⇒概略の方向性?を見いだせれば……。
- ・そのために、無理やり「銘柄通信表」よりベースらしきものを設定。

### 2, 「銘柄通信表」の配点ウェートの概念は



タイトル=5項目  
総配点=100点  
ベース点=50点

### 3, 配点の概要

- ・ファンダメンタル分析=配点60点(15項目)⇒ベース点30
- ・テクニカル分析=配点20点(10項目)⇒ベース点10点
- ・チャート分析=配点10点(4項目)⇒ベース点5点
- ・テーマ性=配点5点(10項目)
- ・業績・ニュース性=配点5点

### 4, 判定基準の概要

- ・S= 100~81
- ・A= 80~61
- ・B= 60~41
- ・C= 40~21
- ・D= 20~0。

# § 03, 配点基準の概要

(配点基準の変更) ⇒ 11/06会議にて一任

## 1、テクニカル性(10項目)

・買い+3点、・売り-3点、無=1点(基準を10項目に換算す)

## 2、チャート分析(4項目) ⇒ (※乖離率は未考慮。)

・オール上+10点、・斜上1項目+2点、・オール下-5点、  
・斜下1項目-2点。

## 3、テーマ性

・有り+5点、無0点。

## 4、業績・ニュース性

・増益+5点、減益-2点、  
・グッドニュース+5点、バッドニュース-2点、無0点

## 5、ファンダメンタル性(15項目)

・業績・PER・PBR・ROE・ROA・自己資本率・利回り・経常益連続期・売上高3年平均=9項目\*5点=45点

・PCFR・理論株価・売上高=3項目\*3点=9点

・信用倍率・PSR・経常利益率=3項目\*2点=6点

※経常利益率・売上高は業績と関連することを考慮。

# § 04, 配点基準の詳細表

## 1、テクニカル性等配点基準(案)

項目	基準配点	ランク1	ランク2	ランク3	ランク4	ランク5
テクニカル性	10項目	買い	売り	無	オール無	
	20	3	-2	1	10	
チャート性	4項目	オール上	下1上3	下2上2	下3上1	オール下
	10	10	8	5	2	-5
テーマ性	有無	有り	無			
	5	5	0			
業績・ニュース性	有無	増益	減益	Gニュース	Bニュース	無
	5	5	-2	5	-2	0

## 2、ファンダメンタル性配点基準(案)

項目	基準配点	ランク1	ランク2	ランク3	ランク4	ランク5
業績	5項目	真上	斜上	真横	斜下	真下
	配点	5	3	0	-3	-5
PER	15倍以下	15<	16~40	40~90	90>	記載なし
	配点	5	4	2	1	-3
PBR	1.5倍以下	1.5<	1.6~3.5	3.5~7.0	7.0>	記載なし
	配点	5	4	3	1	-3
ROE	15%以上	15≥	15~10	10~5	5~0	マイナス
	配点	5	4	2	1	-3
ROA	5%以上	5≥	5~3	3~2	2~0	マイナス
	配点	5	4	3	1	-3
自己資本率	40%以上	40≥	40~20	20~10	10~0	記載なし
	配点	5	4	2	1	-2
理論株価(%)	株価/理論	30≥	30~15>	15~0>		マイナス
	配点	3	2	1	0	-2
PCFR	9以下	9≤	9~18<	18~27<	27>	マイナス
	配点	3	2	1	0	-1
信用倍率	倍率	0~10	11~30	30>		
	配点	2	1	0		
利回り	2%以上	2>	2~1	1~0	0	記載なし
	配点	5	4	2	1	0
PSR	0.5倍以下	0.5<	0.5~20	20>		記載なし
	配点	2	1	0		-1
経常利益率	10%以上	10>	10~3	3<		マイナス
	配点	2	1	0		-1
経常益連続期	5期連続	5>	5~4	4~2	2~1	0
	配点	5	4	3	2	0
売上高	10%以上	10≥	10~6	6~2	2~0	マイナス
	配点	3	2	1	0	-1
売上高3年平均	5%以上	5≥	5~3	3~2	2~0	マイナス
	配点	5	4	2	1	-2



# □第16回銘柄診断スコア一集計表(配点基準の変更)

(第16回銘柄診断-2021・11・12)

銘柄No.	ランク	業績	信用倍率	PER	PBR	利回	ROE	ROA	自己資本	理論株価	PSR	PCFR	経常益		売上高		ファンダ性	テクニ性	チャート性	テーマ性	ニュース性	合計	my株	完了後
													変化	連続	変化	平均								
基準点		5	2	5	5	5	5	5	5	3	2	3	2	5	3	5	60	20	10	5	5	100	1000	-
170	A	5	2	5	5	4	2	4	5	0	0	1	2	2	3	1	41	13	6	5	5	70	234	46
171	A	5	1	5	5	3	2	4	5	3	1	3	2	2	3	-2	42	13	8	5	5	73	571	952
172	B	0	2	5	5	4	2	1	4	0	1	3	0	0	0	0	27	4	10	0	5	46	419	534
173	A	3	2	4	4	1	4	5	5	3	1	2	2	2	-1	2	39	4	8	5	5	61	709	709
174	A	3	2	4	5	1	4	5	5	0	1	3	1	5	-1	-2	36	17	4	5	5	67	602	950
175	B	-3	0	5	5	3	4	4	4	0	2	3	-1	2	0	1	29	10	8	5	0	52	968	917
176	A	5	1	5	4	1	5	5	5	0	1	2	2	2	3	5	46	0	10	5	5	66	887	855
177	A	5	1	4	4	1	4	5	5	0	1	2	2	2	3	4	43	0	10	5	5	63	985	886
合計		23	11	37	37	18	27	33	38	6	8	19	10	17	10	9	303	61	64	35	35	498	5375	5849
平均		2.9	1.4	4.6	4.6	2.3	3.4	4.1	4.8	0.8	1.0	2.4	1.3	2.1	1.3	1.1	37.9	7.6	8.0	4.4	4.4	62.3	671.9	731.3

※今回より基準点の配点を変更して作成

## □銘柄スコア一診断分析表(第16回)

順位	ファン性スコア一順位と 株価上昇率		テクニ性スコア一順位と 株価上昇率		my株スコア一順位と 株価上昇率		株価上昇率順位と 銘柄スコア一		株価上昇率順位とトレンド乖離の関係			
	ファン性スコア一	株価上昇率	テクニ性スコア一	株価上昇率	my株スコア一	株価上昇率	ファン性スコア一	銘柄スコア一	5日	25日	75日	200日
1	46	-25.02	17	-17.37	985	-2.82	4.49	61	3.80	15.65	14.66	-13.07
2	43	-2.82	13	1.36	968	-13.36	3.47	46	2.94	6.17	11.31	20.88
3	42	1.36	13	-4.43	887	-25.02	1.36	73	-3.06	-9.54	-2.96	0.35
4	41	-4.43	10	-13.36	709	4.49	-2.82	63	3.90	16.07	29.65	58.13
5	39	4.49	4	4.49	602	-17.37	-4.43	70	-2.99	-2.71	-1.03	5.68
6	36	-17.37	4	3.47	571	1.36	-13.36	52	-3.73	-0.38	11.21	15.54
7	29	-13.36	0	-2.82	419	3.47	-17.37	67	-2.68	-5.08	-1.81	-2.13
8	27	3.47	0	-25.02	234	-4.43	-25.02	66	10.54	27.79	24.36	39.80

※各回報告の散布図を参照

※移動平均乖離率と株価変動率の関係図参照

### 3、リストアップ銘柄の財務指標の整理表(第20回より下記の財務指標の整理表を追加した)

銘柄名	コード	対通期進捗率(売上高)			売上営業損益		対通期進捗(経常益)			有利子負債倍率		現金等残高		総資産 回転率	キャッシュフロー(億円)		
		億円	進捗	決算	(%)	決算	億円	進捗	決算	(%)	決算	億円	現金比		営業	投資	財務
(株)野村総合研究所	4307	2,919.7	48.7	2Q	18.3	2Q	535.2	51.5	2Q	0.73	2Q	1,531.9	23.3	0.93	739.3	-205.2	-25.3
Genky DrugStores(株)	9267	391.2	24.5	1Q	4.4	1Q	18.5	27.2	1Q	0.85	1Q	79.1	8.7	1.64	120.8	-88.3	-19.5
日本電産(株)	6594	9,106.7	50.6	2Q	9.9	2Q	881.6	47.7	2Q	0.38	2Q	2,195.2	9.7	0.74	2,191.6	-1,005.7	-1,361.9
HOYA(株)	7741	3,206.1	50.1	2Q	-	-	1,050.1	-	2Q	0.03	2Q	3,349.0	39.3	0.66	1,518.1	-297.9	-1,156.7
日産化学(株)	4021	918.1	44.7	2Q	20.9	2Q	222.6	45.6	2Q	0.03	2Q	323.8	12.2	0.81	399.4	-128.5	-256.3
小野薬品工業(株)	4528	1,740.8	50.5	2Q	32.7	2Q	592.3	56.4	2Q	0.01	2Q	610.5	8.2	0.44	739.8	-575.9	-247.5
日本ピラー工業(株)	6490	192.3	50.6	2Q	27.4	2Q	53.7	53.7	2Q	0.01	2Q	105.2	19.1	0.56	56.8	-37.1	-22.4
日本コークス工業(株)	3315	485.2	39.4	2Q	12.7	2Q	58.9	55.0	2Q	0.36	2Q	56.5	5.5	0.84	155.0	-58.6	-78.0

#### 財務指標の整理表メモ

#### 1, 売上高進捗率

売上高や利益の前年比成長率もさることながら、決算を評価するうえでのもう一つのポイントが、企業の計画に対する足元の進み具合をあらわす進捗率だ。決算の進捗率を一目で確認 傾向踏まえ業績修正余地探る 単純に考えれば四半期ごとに25%程度ずつ売上高が進捗する計算になるが、実際は企業や業態によって上期に売上高が大きく増える傾向にあったり、下期に偏る傾向があったりとさまざま。そうしたトレンドを「先行」や「期末追い込み型」などに分類したうえで進捗率を示すことにより、それぞれの企業の実態を踏まえた評価、分析が可能となっている。

#### 2, 売上営業損益

企業の主たる営業活動から発生する損益のこと。売上高から仕入高などの売上原価を差し引いて売上総利益を算出し、その金額から販売費及び一般管理費の合計額を差し引いたもの。利益となった場合は営業利益、損失となった場合は営業損失として損益計算書に記載される。営業損益に営業外損益を加えたものが経常損益となる。

#### 3, 経常益進捗率

通期の業績予想に対して、四半期決算業績がどの程度達成しているかを計算したものです。進捗率が高ければ、業績予想が上方修正される可能性が高まるため、投資家の進捗率の注目度は高くなります。

#### 4, 有利子負債倍率

企業の負債返済能力を評価する財務指標【有利子負債倍率】は有利子負債を営業CFで割ることにより算出できます。つまり有利子負債倍率とは、1年間に本業で稼ぐキャッシュの何倍の有利子負債を保有しているかを測定する指標。手元の有利子負債(借金)を事業の儲けで返済するのに何年必要か？が分かる指標とも言えるでしょう。

借金が少なく、営業CFが大きくなるほど返済能力が高くなるため、有利子負債倍率の値が低いほど返済能力が高いことを意味します。(EBITDA)有利子負債倍率は経済産業省が運営するローカルベンチマーク(地域企業の付加価値向上のための健康診断ツール)の指標のひとつとして採用されています。

#### 5, 総資産回転率

総資産回転率とは、1年間で企業の総資産を使ってどれだけ売上を出したかを示す指標である。総資本回転率ともいう。特に断りがない限り、単位は回転で示される。数値が大きいほうが、企業の総資産を有効活用している状態とされている。

#### 6, キャッシュ・フロー

キャッシュ・フローとは、その名の通り、キャッシュ(現金)の流れキャッシュ・フローと貸借対照表(フロー)です。一定会計期間にどれだけの現金が流入し、どれだけの現金が流出したかという資金の流れを表します。

尚、流入する現金をキャッシュ・イン・フロー、流出する現金をキャッシュ・アウト・フローといいます。キャッシュ・フローは、この二つから成り立っています。

現金がなければ、商品を仕入れるにも借金を返済するにも給与を支払うにも立ち行かなくなります。現金がどれくらい会社にあるのか把握することは、会社の現状の能力を知る上で大変重要であり、よってキャッシュ・フローが果たす役割が必要不可欠になってくる訳です。

キャッシュフロー計算書の構造	
営業活動によるキャッシュフロー	本業の営業活動によるもの
投資活動によるキャッシュフロー	投資(固定資産の取得や有価証券の購入)によるもの
財務活動によるキャッシュフロー	資金調達(借入金の調達や社債の発行)など
フリーキャッシュフロー	会社が自由に使えるキャッシュ

## 7、「信用倍率」

これは、「信用買い残高÷信用売り残高」によって計算され、信用買い残高が信用売り残高の何倍の水準かを表すものです。例えば、信用買い残高が20万株、信用売り残高が5万株の場合、信用倍率は20万株÷5万株=4倍です。逆に信用買い残高が5万株、信用売り残高が20万株の場合の信用倍率は5万株÷20万株=0.25倍となります。信用売り残高に比べて信用買い残高の方が多いほど信用倍率は上昇します。一方、信用倍率が1倍を切っている場合は、信用売り残高の方が信用買い残高より多い(このことを「売り長(うりなが)」といいます)ことを表します。信用倍率は現時点での信用取引による需給動向を表すだけでなく、時系列的にその推移を追うことにより、信用取引に伴う需給が改善傾向にあるのか、それとも悪化傾向にあるのかを判断することができます。一般に、信用倍率が上昇傾向にあれば需給悪化、低下傾向にあれば需給改善となります。なお、単に信用倍率の数値だけみても信用取引による需給を正確に知ることはできません。なぜなら、信用倍率は、信用買い残高と信用売り残高の「割合」を示すのみであり、それぞれの「残高」自体は考慮されていないからです。信用倍率はそれ単独でみるのではなく、**信用買い残高や信用売り残高と合わせてみる**ようにしましょう。

### □配点基準変更理由

- 1、株価変動率と銘柄スコアの相関があまりに低いため⇒第1回～第5回、第6回～第6回のデータ分析より。
- 2、my株(専門業者)との乖離がかなり激しいので。⇒各回報告の散布図参照。
- 3、ファンダメンタル分析と株価変動率の関係である相関係数が一桁低いのでは？
- 4、テクニカル分析と株価変動率の関係が見られないので？。
- 5、スコアとランク(S・A・B……)が偏りすぎているので調整の為。⇒スコアの範囲とランクを修正。
- 6、配点ウエイトの変更⇒特にチャート分析の見直しに重点。
- 7、配点基準(仮)の厳密化？。



## モデルの概要メモ

- 1、第1回目はリストアップ銘柄の”選択要因”についての記載事項を要請はせず。⇒分析に必要なので注意。
- 2、安易にランク区分を4段階(S・A・B・C)としたが？→データの追加とともに適正な区分見直しが必要かも？
- 3、変動率と変位率に分けて整理したことの、意義と理由について説明付け。  
⇒変動率は個別銘柄の時系列の変動率変化と期間の変動量の測定。  
⇒変位率は個別銘柄の最小期間の変位量の測定。
- 4、リストアップ銘柄の”選択要因”については簡単な推薦要因を記入して頂くが→データ整理の必要性から→今後、割安株・成長株・テクニカル株・テーマ株・チャート株・ニュース株の6項目から選択していただくことにした。  
⇒何か、ご意見があればアドバイスいただきたい。
- 5、銘柄ランクと株価上昇率の関係を見るため、時系列的に表・図にまとめる⇒今後ランク区分には検討の余地？
- 6、銘柄スコア診断表(主にファンダ性・テクニカル性)と株価上昇率の関係を確認し起因性・関連性を評価？  
⇒銘柄スコア診断分析(主に、スコアと株価、my株スコアと株価等々……)→表・図等々にまとめる。  
⇒銘柄スクリーニングの見直しにも繋がるのでは？
- 7、値上がり期待できる銘柄を発掘には、決算の数値から業績を読み込む力と、チャートを読んで株価に落とし込む力の両方が必要。失敗からもしっかりと教訓をつかみ、この2つの力を自分のものにするために地道な努力が必要。
- 8、株価上昇率要因分析の為に  
⇒3か月間の株価上昇率とミックス係数の関係の算出。  
⇒企業収益率の合算(ROE+ROA)との関係⇒合算の理論的根拠なしだが……  
⇒株価上昇率とPEGレシオの関係の算出。  
⇒株価変動とニュースの関係(特に決算・材料・テクニカル……)について。  
⇒理論株価と株価の関係。  
⇒トレンド乖離率と株価上昇率。
- 9、銘柄スコアの配点基準は見直しが必要だが……  
ファンダメンタル分析—40点(15項目)、テクニカル分析—15点(10項目)、チャート分析—20点(4項目)、  
テーマ性—10点(10項目)、業績・ニュース性—15点(順次)。⇒もっとファンダメンタル分析の配点を60点程度に増加するほうが、my株スコアとの整合性が取れるのでは？
- 10、判定基準(S=100~76, A=75~51, B=50~26, C=25~0)の見直しも喫緊の課題。  
⇒Sランクの出現が非常に少なく、Aランクがほとんどである。Bランクに至っては稀で、Cランクは問題外。  
⇒各自が吟味した推薦銘柄なのでSランクを多めに、Aランクを細分化し、B・Cランク？等を均等化する。



- ・スコア判定表
- ・スコアとチャート図